

患者の皆様へ

2015年8月3日

2016年6月22日改訂

2017年5月12日改訂第2版

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「膵・胆道癌の浸潤転移進展形式における分子メカニズムの解明」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では膵癌・胆管癌の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。膵癌、胆管癌の診断で2002年から2017年に当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「膵・胆道癌の浸潤転移進展形式における分子メカニズムの解明」

2. 研究の意義・目的

膵・胆道癌は外科的根治手術が可能であっても、術後早期に再発、転移を来すことのある疾患です。そこで本研究では、浸潤・転移関連因子等の発現を、膵・胆道癌切除患者の切除標本のホルマリン固定パラフィン包埋標本および血清より解析し、膵・胆道癌の浸潤・転移の機序を解明することで、個別化治療法を見出すことを目的としました。

3. 研究の方法

膵癌、胆管癌の診断で2002年以降（～2017年）に当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。対象患者様の病理用パラフィンブロックや血清を使用して各種免疫染色や血清中の蛋白発現を解析し、各患者様の臨床病理学的因子や予後との関連を評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは匿名化された後、千葉大学および麻布大学にて解析されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院肝胆膵外科

医師 高野 重紹

043 (222) 7171 内線 72225